

2025年5月

からし種

カトリック片瀬教会



教皇フランシスコ 逝去  
信徒一同心より哀悼の意を表します

立場の弱い人たちを思いやって

ブランチフィールド神父

5月2日、雨。机について窓から見て、新緑をまとった木々は揺れて動いています。主の復活を祝ってから2週間が経っていますが、まだそのときの恵みを感謝しています。

まず、飾りつけ、そしてお花、明らかに大勢の人の手と時間がかかったでしょう。ミサ後のパーティのためにも、共同体の協力が目立って、温かい共同体だなあと思いました。

その時のお御堂の満席の様子が記憶に残っています。その日に、ご年配の方、その中にご不自由な方のいかに多いかと思いました。相当の努力をして来られて、今後しばらくは来られないでしょう。従来のみまで、ご聖体と教会の世話なしに過ごすことになるでしょう。それがもったいないと思います。

今ごろは家族や親せきが、ご聖体を持って帰ってさずけることになっているようで、遠慮なしに申し出てください。世話できる人がいなければ、私が持って行きたいので、連絡してください。

神様が私たち年寄りに、日常生活の心配や不自由などを乗り越えることができるように、病者の塗油の秘跡をくださいました。聖ヤコブの手紙に次の言葉があります。「あなた方のうちで病気の方は、教会の長老を招いて、主の名によってオリーブ油を塗り、祈ってもらいなさい」(ヤコブの手紙5-14-15)

また、今後老人ホームに入ろうと思っている人もいるかもしれない。コロナの歓迎できない遺産のために、外部の人がホームに出入りすることがむずかしくなっていますので、ホームに入居する前にぜひ教えてください。

# 2025年5月度 教会委員会議報告

開催日時：2025年4月13日(日) 12時00分～13時40分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、(副委員長、副委員長、池尾書記、財務、  
会計監査、総務、典礼、宣教司牧、福祉、一粒会、広報、市内キリスト教連絡会、  
シャルル聖パウロ修道女会

## □ブランチ神父のお話し

感心したのですが、今日の大掃除とかこの頃たくさんの人たちが協力してくれていて有難く思います。ある婦人がミサ後、「神父様、ミサは大変ですね。」これは感謝の気持ちを表現して言って下さった言葉と思われませんが、もしも本当に大変に見えることがあったら教えて下さい。自分は安全第一と思って動いているだけです。ミサの時、場合によっては聖堂の横から出入りしてもいいと思っています。

## □全体の報告および連絡事項

1. 3月20日の保土ヶ谷教会枇杷助祭叙階式にブランチ神父含め6名出席。
2. ホームページ編集スタッフを募ったが応募無し。誰か推薦できる人を知っていれば教えてほしい。
3. 四旬節及び復活祭スケジュール及び流れ等の再確認を行った。
  - ・復活の主日10時ミサでの入祭の歌は今年は「聖年の歌、希望の巡礼者」で行う。ハンドベルは聖体拝領時に行う。場所は香部屋の前。
  - ・復活祭パーティは、物価高騰の折、予算を昨年より3万円増やし9万円弱としているがこれでもきつい事をご承知おきください。
  - ・駐車場は、ナザレト修道院の駐車場をお借りする。誘導員はAさんをお願いした。
4. 3月30日植栗神父指導による共同回心式。ブランチ、植栗、レオ3名の司祭による赦しの秘跡が行われた。
5. 4月5日藤沢教会からガールスカウトの訪問があった。参加者の所属教会は、荻窪、渋谷、赤羽、田園調布、吉祥寺、高輪、山手、雪ノ下、藤沢。見学には宣教司牧部Nさんが対応。

## □各部会からの報告

### 総務部

すす払い、大掃除は多くの方が協力して下さいました。有難うございました。

### 典礼部

四旬節からこれまでの準備に感謝します。聖週間もご協力お願いします。

### 宣教司牧部

外の掲示板に教会見学ツアーのお知らせを出す予定。見学の間合せがあったら必ず相澤雅人さんの自宅ではなく、携帯に連絡をお願いします。

### 福祉部

福祉団体応援マーケットサポートチームを立ち上げ、6月29日に福祉団体応援マーケットを開催。

出席希望者は、4月末迄に申込こと。会場作りの協力者を募集。教会からは焼きそば、子ども向けゲームの出店提案あり。

### 教会学校

復活祭に向け、ハンドベルの練習、たまごペイント等の飾りつけ準備している。19日に飾り付ける。

### 中高大青会

- 1) 2025年聖年「青年のイタリア巡礼」(7月27日～8月5日)へ1名参加申込があった。費用38万円のうち、20万円を教会が補助する。巡礼報告会を開催してほしいとの希望あり。
- 2) 4月5日(土) レデンプトル会萩原義幸神父による中高大青会向けの黙想会を実施。参加者は片瀬8名、雪ノ下2名、大船1名とSr.吉田、片瀬、藤沢のリーダー、保護者、信徒等 合計25名参加した。昼食もOさん、Yさん、Sさん、Nさん、Kさんの有志5名のカレーライスで神父、参加者で食卓を囲み交流を行うことができた。

### 一粒会

- 1) 4月26日(土)第5地区一粒会が予定されている。
- 2) 今年も一粒会祈りのリレーが藤沢を皮切りに始まった。信徒に知られていないので周知する方法を考えている。

### 市内キリスト教連絡会

5月10日から今年度の活動が始まる。

### 営繕

司祭館玄関の手摺り設置完了。

### その他

聖堂のオルガン後ろの窓枠の外側が壊れかかっているので早急に修理する必要がある。(この件は翌日直し済)

### □検討・討議事項

1. 聖年に関して  
聖年の歌は歌い始めた。祈りはコピーを準備する。巡礼は、10～11月頃の山手教会巡礼を計画する。
2. ミャンマーの地震災害への募金を能登の募金をお休みにして早急に始める。  
(コロンバン会レオ神父がミャンマーにチャンネルがある)
3. 営繕
  - 1) 司祭館1Fのトイレ改修提案あり、かなり傷み、汚れがひどいので改修承認した。
  - 2) 別紙により教会全体の改修箇所の説明があった。委員会では修繕対策チームを作ることを決めた。メンバーは、奥田、尾下、藤本、田村、池尾。
4. 今年の消防避難訓練は、教会全体の消火、救急、避難に備えられている設備、AEDなどの使い方の認識を目的にした机上訓練を計画する。計画作成は防火管理者の池尾。教会にある、車いすや、救急箱の点検などもしておく。

□ 5月の予定

別紙にて確認。金曜日の講座は内容がきまったら信徒に周知する。

次回委員会開催 5月11日

## 今年の復活祭・聖週間をふりかえって...

教会委員長 宮國麻美

「ご復活おめでとうございます。」と私が先唱台に立ち皆様の方を向いた時、こんなに大勢の方々がお集まりだったのかと驚きました。いつもと違う景色に急に緊張が走りました。でも、お話しをさせていただきながら、この風景はどこかで見た事があるな、どこだろう？という疑問が私の頭によぎっておりました。先唱台から自分の席に戻った時に、思い出しました。そうだ、司祭館入口の花壇だ、と。ガーデニングの皆さんが、冬のうちにうえて下さっていた苗が育ち、球根から芽が出て、やがて蕾をつけ、そうです、ご復活に合わせるように、色とりどりの種類の違うお花が、満開となり行儀よく、列をなして咲いている、その姿と、お聖堂にお集まりの皆様の姿が同じ様に見えました。皆様、一人一人お顔は違いますが、希望に満ちた、明るい晴れ晴れとした表情が花々の様に私の目に映ったのです。

今年のご復活祭の最大の喜びは、復活徹夜祭に2名の方が受洗され、片瀬の共同体に新しい家族が増えたという事です。この上ないお恵みに感謝いたしました。共に歩んでいきたいと強く思いました。

聖週間をふりかえりますと、神父様は毎日、丁寧に、心をこめて、ミサをあげてくださいました。大人の侍者の皆様は全力で神父様をサポートされていましたし、中高生、子どもの侍者も、年に一度の事で慣れていないにしても、大人の侍者の方々や神父様のおっしゃる事をよく聞いて動き、立派に務めていました。典礼の係の皆様も、毎日の事前の準備、また当日は大変な緊張感だったと思いますが、とても良いチームワークを発揮されていました。聖金曜日は少し寂しい祭壇でした。やはり心が沈みましたが、翌日の徹夜祭には祭壇がもとに戻り、お花の係の皆様が、本当に美しくイエス様のご復活の喜びを表すお花を飾って下さり、心も明るくなりました。聖歌隊の皆様はミサの前の歌で、ご復活の喜びを盛り上げて下さいました。入祭の曲「希望の巡礼者」は喜びが満ちあふれて来る協調で、コロナで歌えなかった時期の事を逆に思い出し、こんなに希望が持てる歌が歌える様になって本当に良かったと、しみじみ思いながら、♪希望の光神よ、あなたに歌います♪と元気に歌いました。

そして、拝領の時の教会学校の子も達と保護者、中高生とのハンドベルの演奏。全員で合わせる時間が、殆どなくぶっつけ本番に近い状況でしたが、それにウクレレ隊の皆様やサクソ奏者も加わり、暖かい演奏となりました。心を合わせて、助け合って成し遂げる事の喜びを子ども達も私達大人も噛みしめ、終わった後は大きな笑顔でした。

信徒会館の飾り付けも教会学校の子も達、保護者、また前日は有志のご婦人達により、春らしく飾られました。

8時のミサと10時のミサのミサ後に行われた、ご復活のお祝いまた、受洗者の為のパーティも、担当のコミュニティの皆様が心をつくし、一致団結してご準備をしてくださいました。出席者全員が笑顔で歓談をされていました。イエス様がここにいらっしゃるといふ、暖かい空気を感じる事の出来たご復活祭の一日の締めくくりとなりました。

ご復活祭に向けて皆様の心が一つになり、花壇のお花たちの様に、一人一人の花が咲き、神様の方を向いているように私の目には映っていました。

今年のご復活祭は希望に満ちていました。皆様と共に歩む事を改めて感謝する事が出来た素晴らしい聖週間でした。

イエス様のご復活のお恵みに感謝

そして次の日フランシスコ教皇様が天国に召されました。

とてもさびしい気持ちになりましたが、あのお優しい笑顔で今日も見守って下さっていますね。

心から哀悼の意を表します。

主の平和のうちに



## 新しい一歩

ガブリエル S.K,

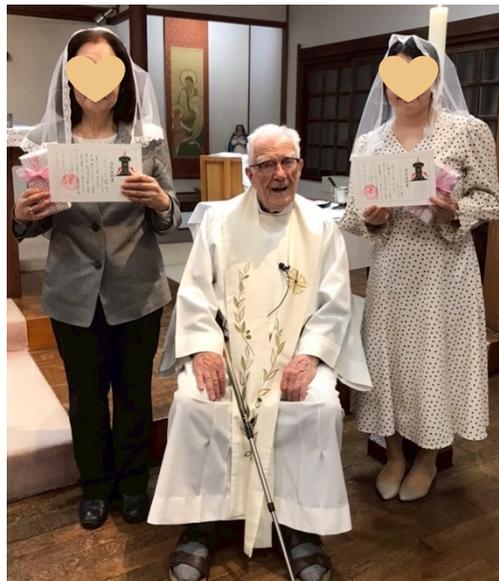
2025年4月19日、私はカトリックの洗礼を受けました。この日を迎えることができたこと、今でも胸がいっぱいになるほどの感謝と喜びを感じています。

洗礼を受けようと思ったきっかけは、結婚を予定している方とそのご家族がカトリックの方であり、私自身もその輪の中に加わりたく自然に思うようになったことでした。日々の祈りやミサの中で、神様の存在や、信じることの豊かさを少しずつ感じ取るようになり、私の中にも信仰の芽が育っていったように思います。

洗礼の準備を通して支えてくださったブランチ神父様、そして代父となってくださった方池尾さんには心からの感謝を伝えたいです。わからないことや戸惑う気持ちに、いつも優しく耳を傾け、丁寧に導いてくださいました。その存在がとても心強く、安心して洗礼の日を迎えることができました。

洗礼によって、これまでの罪が赦され、新しい一歩を踏み出したことに、深い感謝の気持ちがあります。自分自身を見つめ直し、過去を受け入れ、未来へ進むための区切りとなったこの体験は、私の心にとってかけがえのない出来事でした。そして何より、私のそばで変わらず支えてくれた恋人に、改めてありがとうと伝えたいです。これから夫婦として共に歩んでいけること、その人生を一緒に築いていけることが本当に幸せです。日々の中で笑い合い、支え合いながら、穏やかで温かな時間を重ねていけたらと思っています。

兄弟姉妹の皆様、まだまだ未熟な私ですが皆様と共に祈りの道を歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 中高大青会の『神父様のお話会』

中高大青会 M.M.

4月5日(土)中高大青会による『神父様のお話会』が行われました。講話には、レデンプトール修道会の萩原義幸神父様がいらして下さりました。子供たちへの黙想会を開催した経緯は、中高大生になると部活や習い事等で、忙しい時期となり教会へ足を運ぶ機会が少なくなってきました、どの教会でも若者の人数がとも少なくなっています。

ですが、子供たちにとっては、これから新しい未来へ向かって自分の足で歩み出していくとても大切な時期になっていきます。この子供たちにとってとても大切な時期にこそ、一番神様と一緒に歩いてほしいと思い、“信仰を持って生きることの素晴らしさ”を今の若い時期にこそ大切にしてほしいと長く中高大青会のリーダーをしている中で強く思う様になりました。

その思いを教会委員会で提案した所、お隣に座っておられた吉田マスールが良い神父様を知っていると直ぐにお話を通して下さり、萩原神父様をご紹介して下さいました。ブランチ神父様は、近隣教会の司祭にも賛同を取って下さり他教会への呼び掛けも行うことになり、若者たちへも問いかけると、直ぐにその日のうちに若者向けへの素敵なポスターとチラシを作成してくれたり、本当に聖霊が導いて下さっているように、次から次へと繋がっていき流れるように色々と決まってきました。

萩原神父様との打ち合わせを重ねていく中でも、テーマはそのままで行きましようと思いを共有して下さい進めて行く事になりました。ポスターを貼り呼び掛け、第5地区教会へも送り、教会の外の若者へも呼び掛けましたが、若者が集まってくれるかとても心配でした。ですが、萩原神父様は人数は問題ではありません。本当に神様が繋げて下さった子、一人一人が大切ですので、とおっしゃって下さり、全て神様へお委ねをしようと思うことが出来ました。

祈りながら迎えた当日の若者の参加は、片瀬からは8名、雪ノ下2名、大船名の計11名の中高大青の子が参加をしてくれました。

その他にも吉田マスール、片瀬・藤沢の中高生リーダーの方もスライドの準備等も直ぐに対応してお手伝い下さり、保護者、信徒の大人計14名、合計25名が「お話会」に参加をしてくれました。

そして萩原神父様は、とてもお若くて40代の神父様。とても柔らかいお優しいお人柄が溢れておられ、お会いすると直ぐに“手作りの冊子”の束を渡して下さいました。今日の子供たちのために手作りをして下さいました22ページにもなる冊子でした。表題にはテーマ『信仰を持って生きることの素晴らしさ』と記されており、ページをめくると“祈りとは？”から始まり、祈りがよく分かるような

聖書の箇所、“神様の言葉を聴くためには” “心の動きに気づくために” “本当のゆるしの秘跡とは” “自分自身をみつめる” “私にとっての幸せとは?” “日々の祈り” 等々、“信仰を持って生きることの素晴らしさ”に添った、テーマへの子供たちへの愛が沢山冊子から溢れており、その温かさに神父様の思いに涙が溢れて来てしまいました。

1つ1つのお話もとても分かりやすく、ご自分の神学校の時の祈りの体験や、学生の頃感じた思い等、ご自分が体験した思いを子供たちの目線でお話をして下さりましたので、子供たちも皆、夢中になって聞いており、間間に神父様がとても上手にギターを弾かれ合わせて皆と一緒に神様の歌を歌い、どの歌も初めて聴くととても素敵な歌ばかりでしたが、自然に皆、口ずさみ歌う事が出来ていました。



最後は“放蕩息子のたとえ”の映像を観てから、お手製で吹き出しにして下さった漫画に、登場人物のそれぞれの心の思いを、自分が思うままにセリフに記入し、若者チーム、大人チームで分かれて分かち合いをし、若者チームは皆1つに寄り添って座り、見せ合いっこをして、お互いのセリフに笑い合い、とても仲良くなる事が出来ました。1つのお話でも、皆それぞれの感じ方があり、みんな違ってみんな面白いねを心から分かち合う事が出来ました。お昼には、片瀬の有志のご婦人方が美味しいカレーライスを作って下さり、神父様と食卓を囲みながらお食事をし、沢山おかわりをして、笑い合い、お話が弾み沢山交流をする事が出来ました。



「お話会」の終わりに、「なぜ神父様になられたのか」をお話して下さいました。その中で、小さい頃から教会が大好きであったが、中学生の頃にスポーツに夢中になり、教会が少し遠のいてしまった時期もあったが、高校生の頃からギターを弾くようになり、教会でお手伝いをする事が楽しくなり、教会がとても楽しい嬉しい場所になっていき、招命されていったとのお話をして下さりました。喜びが溢れるようになって行ったとのお話を聞き、これからも教会が若者たちにとって楽しい喜びの場所になれるように頑張ってまた努力していきたいと心から思いました。

一日を通して、子供たちが笑顔に溢れ、神様のことを沢山発言をし、神様と共に素晴らしい一日を過ごす事が出来ました。温かい「お話会」を開いて下さりま

した萩原神父様に心から感謝の思いでいっぱいしております。御指導をして下さりまして本当にありがとうございました。萩原神父様をご紹介下さりました吉田マースールに感謝申し上げます。御協力下さりました全ての方々に御礼申し上げます。子供たちのために素敵な一日をありがとうございました。



## 「聖香油のミサ」に与って

K.E.



澄み切った青空のもと、4月16日(聖水曜日)山手司教座聖堂(山手教会)にて、司教様と横浜教区内の各地域から集われた司祭団の共同司式による「聖香油のミサ」が行われました。荘重なパイプオルガンの音と共に典礼聖歌183番「われらはシオンで神をたたえ」が歌われ、改めて日頃の救いや恵みの喜びへの感謝の気持ちがこみ上げてくる中、

開式となりました。

福音朗読・説教の後にはまず「司祭の約束の更新」が行われ、司教様の問いかけに対し、司祭叙階時の約束を思い起こし決意新たに力強く答える司祭団に気迫を感じました。

そして感謝の賛歌の後に「入信志願者用の聖油」の祝福が、拝領祈願の後に「香油(洗礼式・堅信式・叙階式用)」の祝福、「病者用の聖油」の聖別が行われました。司祭団は司教様の協力者として、これらの油を用いてキリストの祭司職を遂行し、使徒たちの後継者である司教様との繋がりが如何に堅固であるかを実感しました。

聖別された香油は、すべての洗礼を受けた人々に注がれる油で、司祭も私たち信徒も共に「主の死と復活を宣べ伝える」という同じ使命を持ち、同じ油を受けたものとして歩みを共にして行くことができるよう気持ちを新たにしました。



## 聖年 2025 の公式マスコットとロゴ

「からし種」1月号・2月号に「特別聖年」について、菊地クリスティーナヨハナさんに、ご寄稿いただきました。膨大な旧約・新約聖書のみ言葉の中から、聖年に関する部分を選び抜き解説を交えながら、結びは「赦し」のことにまで触れ、実に深い内容のものでした。この紙面にてクリスティーナさんには、感謝いたします。また、復活祭では入祭唱として「希望の巡礼者」～2025年「聖年」の賛歌～を、信徒全員で声高らかに歌えたことは大変意義深いことであったと思います。

さて今回は、横浜教区の巡礼指定教会である山手教会の巡礼記念カードから、公式マスコット「ルーチェとその仲間たち」と「聖年 2025 ロゴ」を解説いたします。



## 「ルーチェとその仲間たち」

ルーチェは典型的な旅行者の服装をした巡礼者です。雨風から身を守るための黄色いアノラック、すでに歩んできた道の証である汚れたブーツ、首には宣教の十字架、手には巡礼の杖。特に印象的なのは、強烈な光を放つルーチェの目です。巡礼のシンボルであるホタテ貝のモチーフを配したその目は、巡礼者一人ひとりの心に生まれる希望を象徴しています。また、神と聖霊につながることへの希望を表し、平和と友愛という普遍的なメッセージを思い出させる役割も担っています。ルーチェは新しい世代に働きかけ、世代間の対話を促進してくれることを願っています。

## 「聖年 2025 ロゴ」

聖年のロゴの四人の人物は、地球の四方から集まってきた全人類を表現しています。四人は、連帯と友愛のうちに、信仰と希望のしるしである十字架を抱えています。波は人生の旅がいつも穏やかな歩みであるとは限らないことを示していますが、「希望の錨」が降ろされています。十字架へと向かう信仰の旅を続ける巡礼者や共同体を支えています。

## ラテン語聖歌の意味を分かり易くしました ～典礼を良くするために～

聖歌隊

皆様ご存知のように片瀬教会ではラテン語聖歌を大切にしてきました。これはローマ・カトリック教会の財産であります。歌う機会は少なくなりましたが、10時ミサの聖体拝領時に聖歌隊によって歌われています。ただ、第2バチカン公会議以降、各国の原語でミサが行われるようになってラテン語を耳にすることがほとんどなくなり、聖体拝領時の聖歌の意味が不明な方がほとんどだと思います。

昨年秋、平塚教会で典礼音楽に関する研修会があり、講師の方が「信徒に意味を理解し祈りを深める工夫があるといい。」と言っていたので色々考えていましたが、この度、「お知らせ」の裏面を使って歌詞を掲載することにしましたので、御覧になって意味を理解して頂けたらと思います。また、ラテン語はほとんどローマ字読みに似ているのでさほど難しくありませんので、歌ってみたいと思っいらっしゃる方は聖歌隊にいらして下さい。毎月第1主日を除き、9時半頃から練習をしています。

## 山口道孝神父様の活動支援物資へのご協力を！

ミサ時に配布しております《お知らせ》に記載しておりますが、毎月、山口道孝神父様の活動を支援する物資を、信徒会館内の箱に集めています。最近は集まる物資が減少して来て残念に思います。同じように神父様の活動を支援している茅ヶ崎教会の福祉部の方が、素晴らしい呼びかけのメッセージを茅ヶ崎教会の広報紙に掲載されているので紹介させていただきます。

### 愛があれば無関心ではられない (i さん)

教皇フランシスコの言葉です。「愛があれば無関心ではられないはずです。愛とは思いやりであり、あなたの心を他の人につないでくれるものです。」

現在、カトリック貝塚教会、浅田教会の小教区管理者である山口道孝神父様は、多くの支援活動の中、2020年からコロナ禍で生活に困窮する近隣の地域に住む外国籍の家族に土日を使い、厚木、海老名、大和。愛川、綾瀬、藤沢、平塚近隣地区100世帯位に月1回訪問されています。

神父様が『『アウトリーチプログラム』という、親しくなって信頼関係を作るための手段』と捉えて訪問することにより、彼らの精神面のサポートをされています。訪問することによりたくさん您的问题も見えてきます。皆様にご協力いただいている、お米5kg、小麦粉、スパゲッティ、トマト缶、野菜の缶詰、トイレトペーパー、生理用品などの生活用品などを配っています。信者の皆様には毎月ご支援をいただき感謝しております。

活動も五年経過し支援物資が少なくなりつつあります。どうぞご理解の上、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

私たちが教皇様のお言葉通り、愛があれば無関心ではられません。日々の生活の中で一人一人がこの言葉を思い出し、少しでも実践することを心がければ、外国籍の困窮する皆様の生活への潤いに繋がるのではないのでしょうか。いつも信徒会館に支援物資の箱は置いてあります。変わらないご協力をお願いいたします。

## 2025年5月

### ☆教皇の意向：労働条件

一人ひとりが仕事において充実感を覚え、家族の尊厳が保たれ、人間性豊かな社会となりますように。

### ☆日本の教会の意向：子ども

子どもたちが、健全な心と健康に恵まれ、神の恵みの中で成長していくことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

### ☆典礼と行事・活動予定

曜日		典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
5/1	木			まりあ食堂
2	金	聖アタナシオ司教教会博士 記	9:30	金曜講座
3	土	初金 聖フィリポ聖ヤコブ使徒 記		
4	日	復活節第3主日	8:00 10:00	
5	月			
6	火			使徒言行録を読む会 10:00
7	水			聖書と典礼を読む会 10:00
8	木			
9	金		9:30	金曜講座
10	土			
11	日	復活節第4主日	8:00 10:00	教会委員会
12	月			
13	火			使徒言行録を読む会 10:00
14	水	聖マチア使徒 祝		聖書と典礼を読む会 10:00
15	木			
16	金		9:30	金曜講座
17	土			
18	日	復活節第5主日	8:00 10:00	福祉バザー
19	月			
20	火			使徒言行録を読む会 10:00
21	水			聖書と典礼を読む会 10:00
22	木			
23	金		9:30	金曜講座
24	土			
25	日	復活節第6主日	8:00 10:00	
26	月	聖フィリポ・ネリ司祭 記		
27	火			使徒言行録を読む会 10:00
28	水			聖書と典礼を読む会 10:00
29	木			
30	金		9:30	金曜講座
31	土	聖母の訪問 祝		

## ◆お知らせ◆

○5月18日ミサ後、復活祭後のパーティーで気付いた点の整理とともに、今後のコミュニティの運営の仕方について話し合う会を開催いたします。各コミュニティの代表の方はお集まりください。また、代表以外の皆様も可能でしたらご出席いただき、多くの方々のご意見をいただけたらと考えております。(委員長、副委員長より)

○ミャンマー地震の被災者支援の募金をしています。ご協力よろしく願いいたします。

○5月度の金曜講座の内容は、「ローマの信徒への手紙第7章」からです。皆様の参加をおまちしています。

2025年5月号

発行 カトリック片瀬教会  
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35  
TEL/FAX 0466-22-4646  
<https://www.catholickatasechurch.com>